

第 1 回 野洲駅周辺地区整備検討委員会 ～ 議事概要 ～

日時：平成 23 年 3 月 25 日（金） 10：00 ～ 12：00

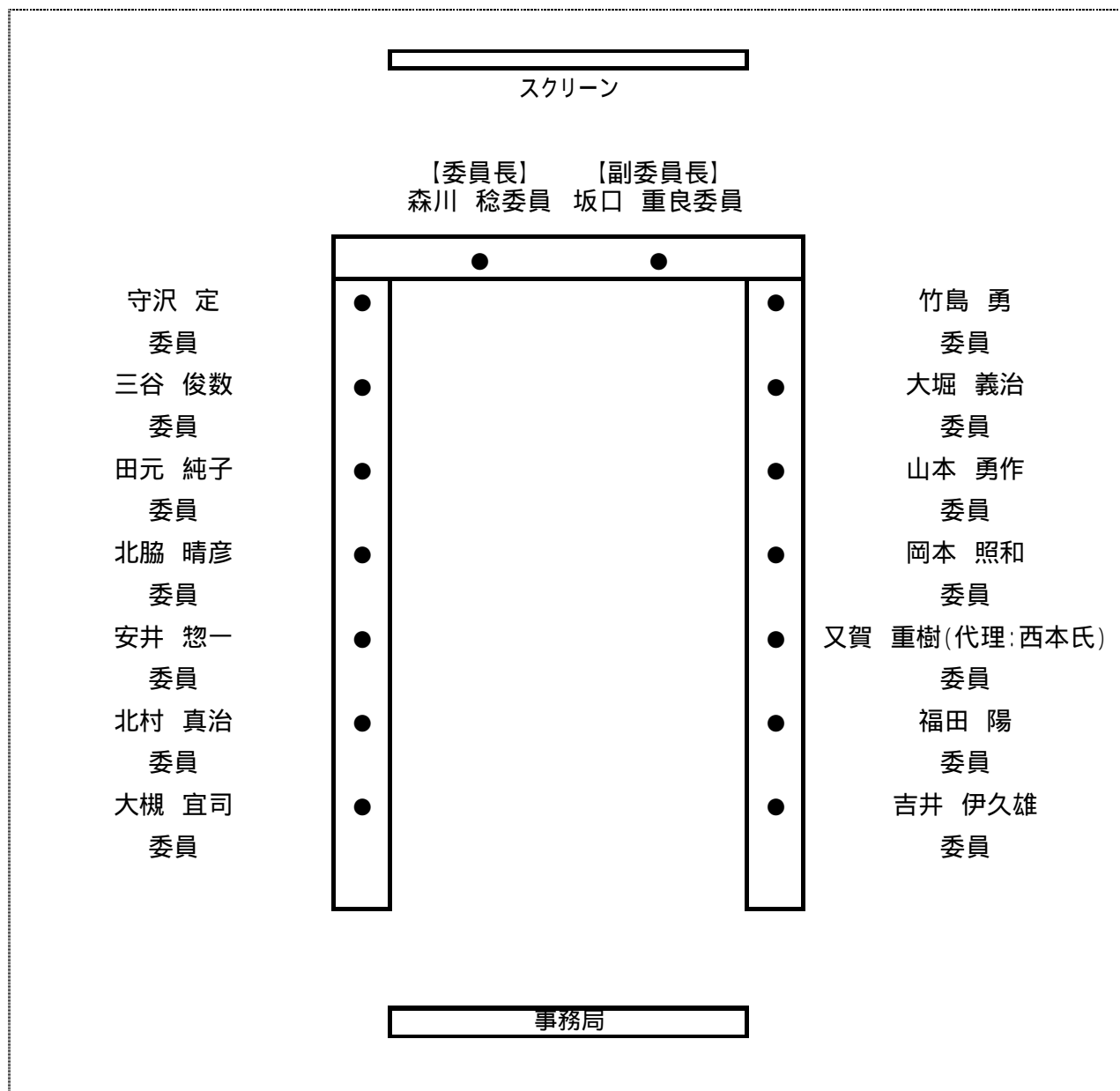
場所：コミュニティセンターやす 2 階 研修室

■ 議事次第

1.開会	
2.委員委嘱	
3.あいさつ	
4.委員長、副委員長の選出	
5.議事	
5-1.委員会の主旨・検討内容等について	
5-2.野洲駅南口駅前広場整備について	1) これまでの経緯 2) 野洲駅南口駅前広場整備計画（案）に対する市民意見への対応 3) 実施設計において、委員会で検討する内容
6.その他	
7.閉会	今後の予定、閉会

■ 参加者

	氏 名	所 属 等	備 考
委員	森川 稔	滋賀県立大学准教授	（委員長）
	坂口 重良	野洲市観光物産協会	（副委員長）
	竹島 勇	野洲学区自治連合会	
	守沢 定	北野学区自治連合会	
	大堀 義治	駅前自治会	
	三谷 俊数	駅前北自治会	
	山本 勇作	野洲市老人クラブ連合会	
	河副 健一	野洲市障害者関係団体連絡協議会	欠席
	田元 純子	野洲市女性団体連絡協議会	
	梅景 俊之	野洲市商工会	欠席
	喜多 良知	迷惑二輪・四輪をなくそう推進委員会	欠席
	北脇 晴彦	一般社団法人 野洲市給与所得者の会	
	岡本 照和	守山警察署交通課	
	安井 惣一	滋賀県南部土木事務所道路計画課	
	又賀 重樹	西日本旅客鉄道株式会社	代理：西本氏
	北村 真治	近江鉄道株式会社	
	大槻 宜司	滋賀バス株式会社	
	中村 敏敬	光タクシー株式会社	欠席
	福田 陽	近江タクシー株式会社	
	吉井 伊久雄	野洲小学校	
事務局	野洲市都市建設部都市計画課		
	株式会社エイト日本技術開発		



図．第1回野洲駅周辺地区整備検討委員会 座席表



図．委員会風景写真

■ 議事概要

議 事 説 明
1.これまでの経緯
平成17年度より野洲駅南口土地利用協議会、野洲駅中心市街地整備検討委員会、野洲駅中心市街地整備検討委員会作業会において市民の参加を得て議論し、今回の計画である野洲駅南口駅前広場整備計画(案)に至った経緯を説明した。
2.野洲駅南口駅前広場整備計画(案)に対する市民意見への対応
野洲駅中心市街地整備計画のひとつである野洲駅南口駅前広場整備計画(案)について、昨年11月1日より1ヶ月間、野洲市役所ホームページにて公表し、市民の意見を募集し、いただいた意見とその対応案を説明した。
3.実施設計において、委員会で検討する内容
実施設計を行う際に本委員会で検討いただく予定の項目について、説明をした。

委員による意見交換(1.これまでの経緯)
1-1・これまでの経過は市民に公開されていて、市民は一度目を通していているとの理解でよいか。
(委員)
1-2・そのように理解していただいてよい。
(事務局)
2-1・当初案(H17年度案)から現計画案(H21年度案)に至るまでに、バス停の位置や自家用車乗降場の位置が大きく変更されているおり、それらの経緯について要点を説明願いたい。
(委員)
2-2・現状の駅前広場においては、バスを待機させる場所がないこと、歩行者と自動車の動線が交錯するという問題があり、当初案(H17年度案)はこれらの問題を解決する案である。この案の特徴は、小ロータリーをなくして歩行者と自動車の分離を図り、憩いの場の提供を図ったことである。しかし、隣接地への進入・荷卸しなどの課題や緊急車輛の進入の確保の理由から小ロータリーを現状の通り残し、H19年度案では、にぎわいの創出のために、ペDESTリアンデッキに機能を付加している。H20年度案は、H19年度案を基に詳細な設計を行ったものである。具体的には、バス停の配置計画の見直し、ペDESTリアンデッキの縮小、歩行者動線の直線化である。また、小ロータリーはより安全な形状に修正した。現計画案(H21年度案)は、コスト縮減の観点からH20年度案を再度検証し、ペDESTリアンデッキを廃止とし、現状にある横断歩道を復活させた。
(事務局)
3-1・当初案(H17年度案)のどこに問題があったのか、もう少し説明願いたい。
(委員)
3-2・当初案では、小ロータリーをなくし、その場所のにぎわいの創出のための広場を計画していたが、関係者との協議により、非常時の車両進入経路の確保や隣接地の商業活動等の利便性の観点から小ロータリーを残す必要があった。
(事務局)
4-1・「にぎわい創出」として人が滞留する場所となるペDESTリアンデッキを計画されていたと思うが、ペDESTリアンデッキの無くなった最終案で人が溜まれる場所はどこなのか。
(委員)

委員による意見交換（1.これまでの経緯）	
4-2・現計画案では、人が溜まれる場所の確保は難しく、小ロータリーの中にもぎわいを創出する場所の1つとして考えられます。また、アサヒビールの土地など周辺の今後の開発整備などにゆだねていきたいと考える。	（事務局）
5-1・過年度の計画では、バス乗降場が駅に近い位置に設置されていたが、現計画案では駅から遠い位置に戻っていることについて、経緯を説明願いたい。	（委員）
5-2・当初はバス乗降場を駅近くに配置し、自家用車を駅前広場入り口へ配置していたが、自家用車乗降場が最も混雑するため、駅前広場の入り口部分で混雑すると、その他の車両の円滑な通行が困難となる。また、バスの乗降場にスペースが必要なため、1箇所に集約できるように現在の計画案に修正した。	（事務局）
6-1・右折レーンを計画されているが、右折レーンの設置だけで交通渋滞を解消できるのか。また、タクシーがプールから乗降場に移動するとき、横断歩道を通過しなくてはならないが危険ではないか。自家用車を市道下水門支線へ逃がすという方法はできないのか。	（委員）
6-2・歩道である市道下水門支線をバス専用レーンにして混雑を解消したらどうかという市民意見もあったが、こちらの歩行者空間は残しておかなければならないと考えている。混雑を解消するためにもう1箇所車道を整備する必要があるとは考えている。ただし、本委員会では、将来的な構想として、どこを対象とするかについて2案程度検討したいと考える。	（事務局）
7-1・現計画案（H21年度案）は、市民の意見が反映されているとのことであるが、事業者のニーズも考慮しないといけないのではないかと。現存する無料駐車スペースは廃止するのか。	（委員）
7-2・事業者の意見も反映していきたいとも考えている。また、交通安全に対する配慮も重要であることから、本委員会ですまざまな意見をいただき、理想の案にしていきたいと考えている。現況の無料駐車スペースは、30分無料駐車場として計画している。身障者用駐車スペースは、現況と同様にエレベーターの近くに1箇所計画している。	（事務局）
8・アサヒビールの土地の話が出ているが、本計画においては重要な問題であり進展をみながら検討したいと考える。	（委員）
9・「にぎわい」はどうしたら実現できるのか考えていきたい。野洲市には、歴史探訪やショッピングモール利用者が多く集まってきているが、食事する施設がないことが問題であるとする。また、駅舎が中心部よりも遠い位置にあることから、もっと中心にあれば良いと思う。さらに、エレベーターもエスカレーターも駅舎の隅にあることも問題ではないか。	（委員）
10-1・コンビニとその駐車場は、計画の範囲外か。	（委員）

委員による意見交換（1.これまでの経緯）	
10-2・コンビニと駐車場は JR の所有である。本計画は、あくまで市所有地等において整備を考えるものである。	（事務局）
11-1・駅前広場の機能は、交通結節点機能、街の顔としての環境的な機能、災害時の避難場所等の防災機能と大きく 3 つある。現計画案は、現況より良くなるということで、 弊社（JR） としては大筋賛成である。ただ、駅周辺で気になっているのは不法駐輪の問題であるが、それは大丈夫か。	（委員）
11-2・H7～8 年くらいまでは迷惑駐輪に困っていたが、地元住民や業者の取組みが功を奏して、現在では近隣の駅に比べ格段に少なくなっている。	（事務局）
12-1・スケジュールが 7 月に実施設計を決定し、9 月に工事実施となっているが、はたして現計画を変更して間に合うかどうか疑問に思う。意見によっては、計画変更することは、スケジュール的に無理ではないか。	（委員）
12-2・この計画は、国の補助事業にのせて実施しており、5 年間の枠組みがあることから、野洲駅南口駅前広場は H22 年度に実施設計を行い、H23～25 年度の 3 年間で工事を行う予定にしている。駅前なので、いろいろな交通機能を担保しながら工事を進めていく必要があることから、工事には 3 年くらいかかると考えている。よって、行政としてはできるだけ早く工事に入っていきたいと希望している。	（事務局）
13-1・行政側のということも分かるが、子供・孫に残すことなど考えると、十分な検討を行い、最良の計画とするべきである。そのため、この委員会でいろいろな意見を出しても間に合うのかどうかを聞きたい。	（委員）
13-2・この工程を作成したときの前提条件としては、アサヒビールの土地購入の件は入っていなかった。国の補助事業なのでスケジュールを大きく伸ばすことはできないが、ある程度の融通性は持たせたいと考えている。スケジュールの変更については、少し検討する時間をいただきたい。	（事務局）
14-1・アサヒビールの土地を市が購入するかどうかの結論は、いつでる予定か。	（委員）
14-2・4 月 24 日の懇談会で、ある程度の方向性を定める予定である。	（事務局）
15-1・スケジュールは、最初から 3 回で実施設計を決定すると決め付けず、必要なら検討会回数を増やしても良いのではないか。	（委員）
15-2・柔軟に対応させていただきたいと考えている。いろいろな意見・提案等を考慮したうえで、改めてスケジュール案を提示させていただく。	（事務局）

委員による意見交換 (2.野洲駅南口駅前広場整備計画(案)に対する市民意見への対応) (3.実施設計において、委員会で検討する内容)	
16-1・市民意見への対応についての「対応案」に意見がないとすれば、これが承認され「整備計画」になるという理解でよいか。	(委員)
16-2・「対応案」は、「市民意見」に対してこれまでの経緯を考慮し現計画案に基づいてとりまとめたものである。先ほどからさまざまな意見をいただいておりますので、検討事項として取り入れていきたい。	(事務局)
17・少し急ぎすぎではないかという感じがしている。「委員会で検討する項目」が提示されているが、本日の議論においてもそれらに収まらないものもあり、もう少し幅を広げて考えていったらどうか。	(委員)
18・現在、野洲駅前では1日あたりバスの発着が180回前後ある。現計画案では、バスの乗降場が駅から遠い位置に配置されているが、この先何十年と運用されていくなかで、優先されるべきバスがこの計画で良いのか再度検討していただきたい。	(委員)
19・「南口駅前広場整備イメージ図」に、「安全・安心のために」「にぎわいのために」「景観のために」の3つの柱の記述がある。ただし、「にぎわいのために」の記述は「にぎわい」でなく「便利」についてであり、「にぎわい」については何も書かれていない。駅前広場の限られた場所の中でも、滞留できる場所を少しでも確保するということが必要と思う。	(委員)
・現在、野洲駅の階段を降りると非常に狭いし、くつろぐ場所もない状況にある。利用者が野洲駅を降りた瞬間の第一印象として、やすらげるような場所を少しでも確保することが「にぎわい」に対して大事だと思う。	
・「野洲市にとって、野洲駅前・野洲駅は何なのか」という基本的な市民の思いや考え方、コンセプトをもう一度整理したほうが良いと思う。	
20・本日、言えなかった意見などあれば、都計(事務局)にFAXしてほしい。それらも参考にして、次回委員会で提示する計画案については、事務局だけでなく委員長、副委員長も含めて検討し提案する	(委員)

■ 委員会結果及び今後の予定

- ・次回委員会については、委員長、副委員長と委員からの意見を整理し開催する。開催予定は5月頃とする。